

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成25年7月25日
報告者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区塩小路烏丸西入 東塩小路町614番地 新京都センタービル8F	報告者の氏名 (法人にあつては、名称及び代表者名) 京都駅ビル開発株式会社 代表取締役社長 東 憲昭

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	環境マネージメントシステム (KESステップ2-SR、ステップ2-En)
適用範囲	京都駅ビル、別棟駐車場、事務所
導入年月日	2012/6/1
認証番号	KES2SR-0001、KES2En-0001
基本方針	京都駅ビル開発株式会社は、「持続可能な発展への貢献を最大化」することが人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて、SR活動及びエネルギーパフォーマンスの向上とともに、環境負荷の低減に努めます。 京都駅ビル開発株式会社は、京都駅ビルに関わる全ての活動、製品及びサービスのSR活動及びエネルギーパフォーマンスの向上とともに、環境影響低減のために、次の方針に基づき環境 (SR・エネルギー) マネージメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	①地域コミュニティへの参画：再生可能エネルギーや緑化等の情報発信 ②電力使用量の削減：平成22年度比7%削減 ③一般廃棄物発生量の削減：食品再資源率95%を維持 ④事務用紙使用量の削減：コピー用紙10%削減 ⑤エコ商品購入の推進：グリーン商品購入比率85%
目標を達成するための取組の内容	①地域コミュニティへの参画：15周年記念事業の「場」や、「下京・京都駅前夏祭り」の開催 ②電力使用量の削減：階段通路誘導灯等のダブルエコ化、節電対策の実施 ③一般廃棄物発生量の削減：食品廃棄物再資源化促進 ④事務用紙使用量の削減：廃紙の再利用、両面印刷活用 ⑤エコ商品購入の推進：エコ商品カタログを利用し、切替推進
目標を達成するための取組の進捗状況	①地域コミュニティへの参画：再生可能エネルギーや緑化等の情報発信 対計画 → 150% 参画 ②電力使用量の削減：平成22年度比7%削減 → 10% 削減 ③一般廃棄物発生量の削減：食品再資源率95%を維持 → 98% ④事務用紙使用量の削減：コピー用紙10%削減 → 25% 削減 ⑤エコ商品購入の推進：グリーン商品購入比率85% → 96%
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①～⑤の項目全てが「A」(100%以上達成)の成果を得た。 評価についても、期間中の「不適合」による修正対策は無かった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法令を調べ一覧にすると共に、調査の結果遵守できていることを確認した。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	①環境共生推進プロジェクトの推進：再生可能エネルギーや緑化モニタリングの情報発信、企画展示、外部との連携・情報発信 ②電力使用量の削減：前年電気使用量維持 ③事務所電力使用量の削減：前年比4%削減 ④一般廃棄物発生量の削減：食品再資源率95%を維持 ⑤事務用紙使用量の削減：前年比5%削減

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。